



校長室だより

2023年7月20日
校長 橋本 顕嗣



安全で有意義な夏休みを

7月21日から8月24日まで、35日間の夏休み（夏季休業）が始まります。かつて仙台市で3学期制がとられていた時代は夏休み前に1学期終業式があり、1年の中でも大きな節目の日でした。2学期制となってからは式としては行ってはいませんが、長期休み前の節目の日としての夏休み前集会・朝会を開催することが一般的です。本校でも夏休み前の朝会を開き、校長から全校児童に向けて以下の四つの内容の話をしました。（児童に向けて私の言葉で伝えました。）

一 なぜ夏休み（長期休業）があるのか

長期休業日（児童生徒にとっての夏休み、冬休み、春休みなど）は世界的に広く実施されています。その目的はそれぞれの国によって異なりますが、日本の場合は夏の暑さや冬の寒さからの回避、年度の境目（春の年度終了から年度開始までの準備期間）のため、盆・暮れ・正月の年中行事のためなどがあげられます。つまり、気候的に学校で学習するには厳しい時期であったり、年中行事や年度の変わり目で家庭で過ごすべきであったりする時期に、子どもたちに休養を与え、次の機会の準備を整えるためにあると言えます。子供たちには夏休みは家庭や地域で生活し、成長する機会であることも伝えました。

二 有意義な夏休みのために、これまでの生活を振り返り、目標・めあてを立ててその達成のために生活の計画をたてよう

目標・めあて、計画はできるだけ自分で考えてみることを子供たちに話しました。すでにご家族での休み中の計画等もあると思いますので、保護者のみなさんも一緒に考えていただくと良いと思います。

三 命を大切にすること

毎年、休み中に子どもや若者が命を落とすような事故が後を絶ちません。交通安全に関することや生活上の約束事を指導していますので、ご家庭でもご配慮願います。また、地域の皆様におかれましては子どもたちを見守ってくださいますようお願いいたします。

四 読書を積極的にしよう

本物（ほんもの）との出会い、感動することは心の成長に欠かせないと思います。本物との出会いというと、自然の中で過ごしたり、文化財等を間近で見学したり、プロの演奏を聴いたりすることを思い浮かべるかもしれませんが、昔から名作と呼ばれる本を読むことも本物に触れる機会といえるのではないのでしょうか。私から子供たちに夏休み中の含め、積極的に読書をするよう話しました。また、6月のお話し朝会では私が子供のころに出会った本で、最近も読んで感動した「ガリバー旅行記」と「モチモチの木」のお話をしました。保護者の皆さんもお子さんと一緒に本との出会いを探しませんか。

〔 お願い 〕

今後も「学校だより」「校長室だより」「学校ホームページ」等で学校からの情報発信に努め、風通しの良い学校を作っていくために努力して参ります。御意見、御提案、御要望等は随時学校までお知らせくださいますよう、お願いいたします。